

肢体不自由児者の父母の機関誌

ZSZ No.157 2022.6.20 発行

ほろ

第55回全国大会
第57回東海北陸ブロック愛知大会

期日 令和4年9月10日(土)
~11日(日)

会場 ロワジュールホテル豊橋



令和3年度相談事業報告
令和3年度事業・決算報告
令和4年度事業・予算計画(案)
令和4年さわやかレクリエーション
開催予定一覧



全肢連

一般社団法人 **全国肢体不自由児者父母の会連合会**
National Federation of the Physically Disabled and their Parents Associations, ZENSHIREN

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709 TEL 03(3971)3666 FAX 03(3971)6079

URL: <http://www.zenshiren.or.jp/> E-mail: zenshiren@zenshiren.or.jp

URL: <http://www.facebook.com/ZENSHIREN>



全肢連は、障害児の親たちが、互いに助けあい、力をあわせていけるように努力しています。障害児者が1人の人間として、生きがいの持てる地域社会づくりをめざしています。

KEIRIN
競輪の補助事業

この冊子は、競輪の補助により作成しました。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp>

令和3年度 国庫補助事業 相談事業報告

障害のある子どもを持つ親の集まりの父母の会は、生活の中で日々感じる困りごとを聴くペアレント活動を本年度も社会福祉法人全国心身障害児福祉財団の「相談事業」を受託し、実施した結果を報告します。

【相談期間】

令和3年8月～12月

【相談員】

全肢連理事、父母の会会長16名

【相談を受けた人数】

446名

【相談件数】

815件

(昨年度より292件増)

相談区分は相談される方の年齢を反映して生活と入所で8割強を占め、教育、療育訓練、職業、療育の順となっています(図2参照)。相談方法は、新型コロナウイルス感染症が収まりを見せない中、3つの密を避け、来訪・巡回等の対面が7割強、電話・メール等は3割弱となっています(図3参照)。相談内容を何処に繋いだか。「父母の会」には、①会員が持っている経験値(情

報)に繋ぐ、②父母の会の要望として取り上げたの2つの意味があると推察します。

次が「行政機関」「医療機関」「教育機関」「施設」「児童相談所」の順で、児相が最も少ないのは相談される方の年齢によるものと思います(図4参照)。

相談内容を「障害福祉サービス」「住まいの場」「医療」「就労」「教育」「療育相談」「成年後見制度」「バリアフリー」「災害」「教育」「人材」「コロナの影響」「その他」の13項目、更に49項目に分類し整理しました。医療に関する相談は、全体の8%、その内医療的ケアに係わる相談は、7割を占めています。

「医療的ケア児及びその家族の支援に関する法律」の施行が影響していると思われませんが、全体として「8050問題」と「将来の不安」に関する相談が多くなっています。

障害福祉サービス等の実施主体が市町村自治体であり、各市町村に設置が義務化された地域自立支援協議会に父母の会として積極的に参画し、何度でも使い勝手の悪さ、改善と新しいニーズの掘り起こす活動が内容の向上に結びつける必要があると推察します。

図1 全体

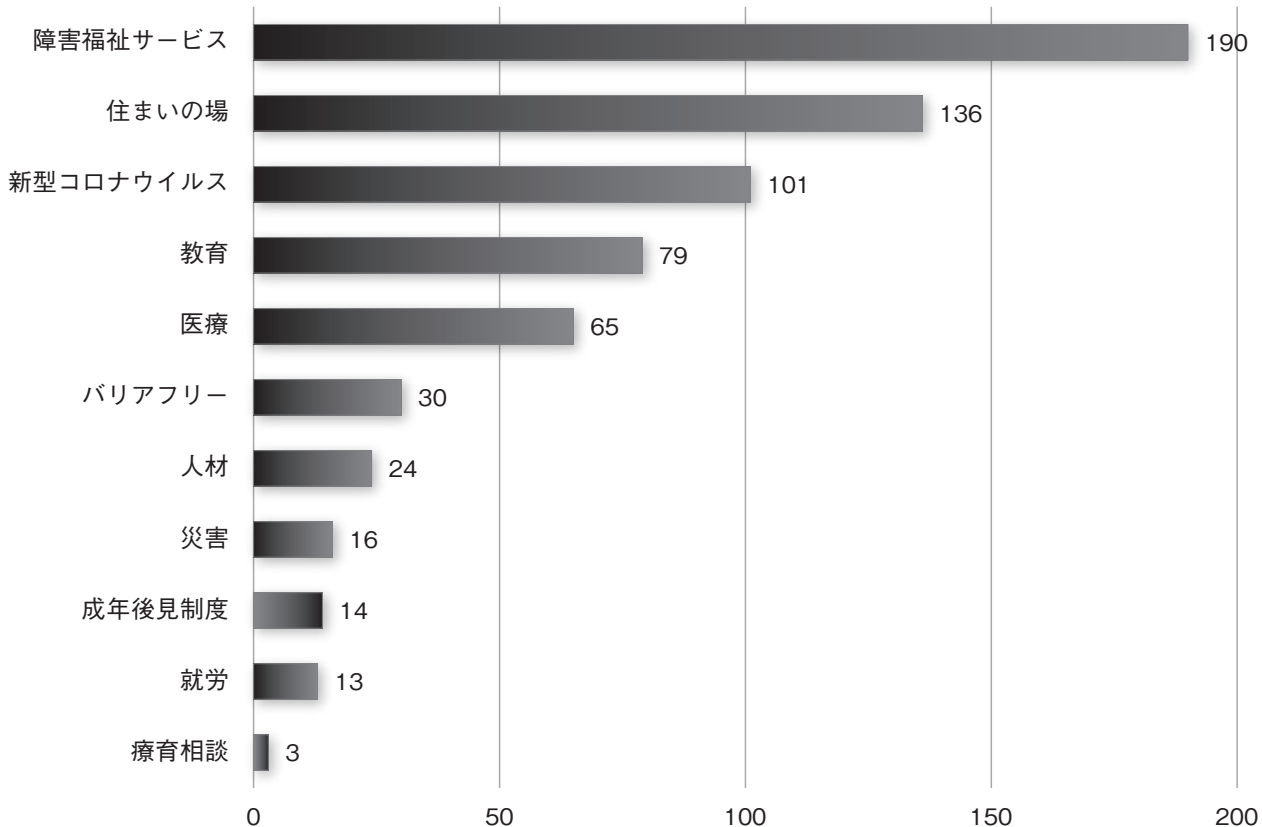


図3 相談方法

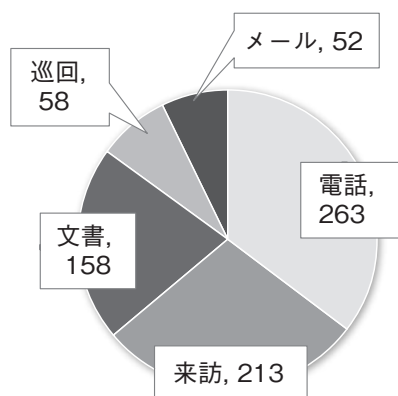
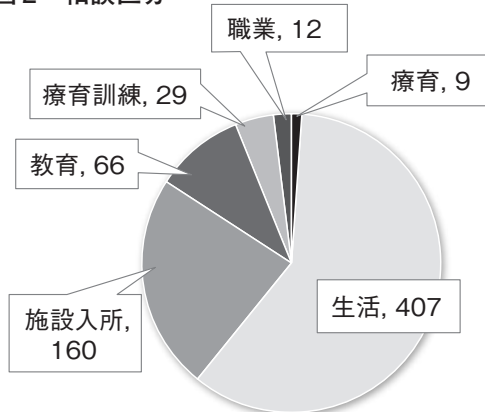


図2 相談区分



相談事業の全体像は、図1に示した通り、上位4つの項目は、「障害福祉サービス」「住まいの場」「新型コロナウイルス感染症」「教育」で、続いて「医療」「バリアフリー」「人材」「災害」「成年後見制度」「就労」「療育相談」の順となっています。各項目についてみていきます。

図5の通り「サービス利用の内容(制度の改訂含む)」、「短期入所(緊急一時含む)」、「移動支援(送迎)」についての相談が障害福祉サービスの約7割を占めています。サービス利用の内容は「制度」と相互に関係があります。実施主体が市町村自治体のため幾つものサービス内容で対応が異なりそれが地域差(地域間格差)を生じるものとなっていると推察します。生活介護サービスを利用しているが、加齢により細かな支えのサービスが追い付いていません。

障害福祉サービス

図4 相談をつないだ先

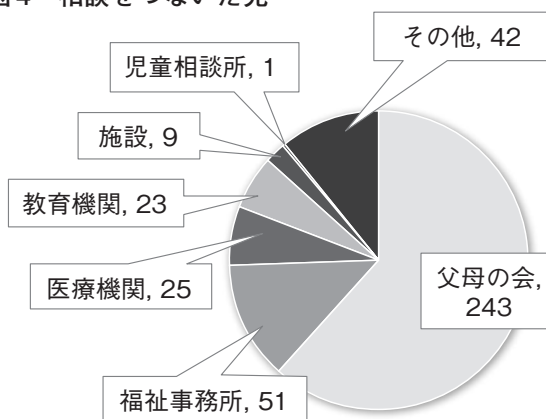
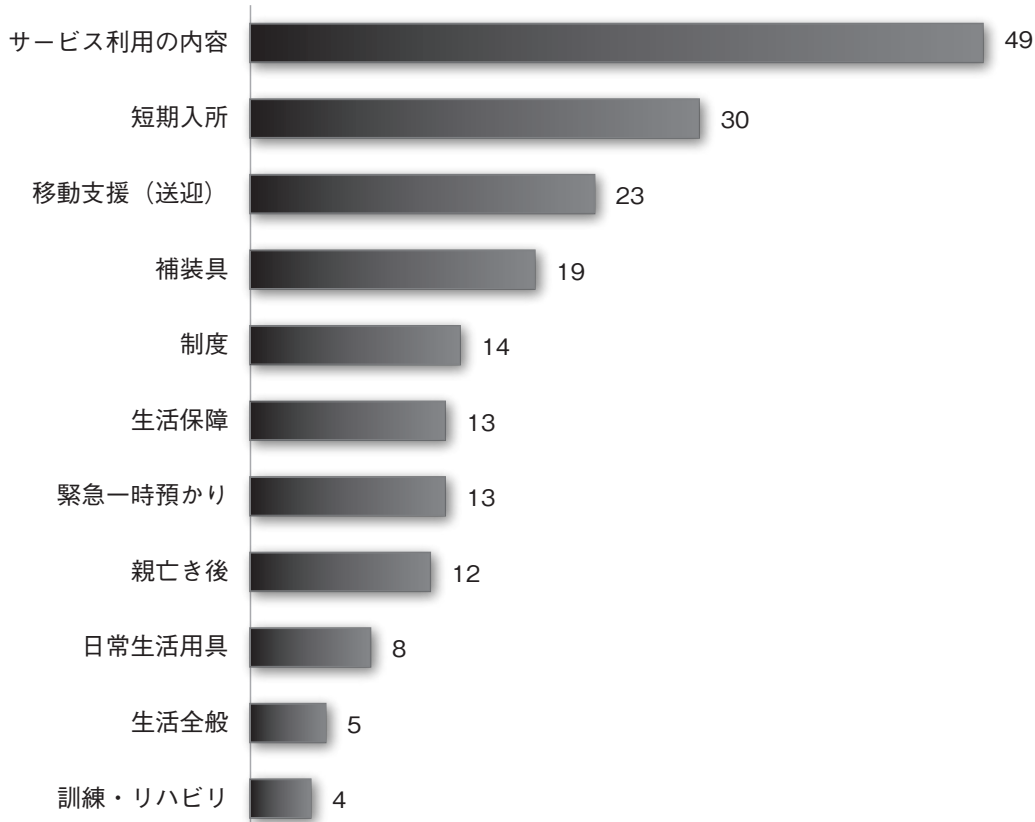


図5 障害福祉サービス



また、短期入所利用と生活介護事業所に通所する送迎に關しての相談が多くなっています。短期入所については、利用日数と予約が取りづらい。緊急一時預かりの制度を設けたが、困った時（緊急時）に預けるところがない、利用できないで困っているところについては、厚生労働省予算の項目に「緊急一時予算」があります。「緊急時」の範囲を決めて市町村に要望できます。補装具については、複数の支給と修理手続きに時間が掛るといふ相談があります。車いすは、就学中（高等部卒まで）は、学業と生活で各1台は可能となっていると思います。高等部卒後の生活でどうしても2台目が必要となる状況を、更生相談所に理解いただければ認められる可能性があります。また、修理については福祉事務所（名称は各自治体で異なる）で手続きができることになっています。日常生活では、おむつの支給は座位が取れず、排尿若しくは排便の意思表示ができれば認められます。2019年度に全肢連で実施した「排泄」に關するアンケートでも同じ意見が寄せられています。排せつ物の処理（オムツの支給）に地域差が生じているのは如何なものかと思えます。

親は、レスパイト目的での短期入所

- (ショートステイ) 利用ではなく、高齢で介護力の低下を補うために使いたいがなかなか難しくなっています。加えて、障害基礎年金だけでは生活できない不安から生活保障を求めています。
 - (ア) 当事者への支援施設がもっと増えてほしいのはもちろんだが、家族への支援がより多くあればと思います。施設の立地が不便な点は、当事者にも厳しいが、家族にも厳しい。
 - (イ) 医療的ケアがなくても重度の子です。医療的ケア児のみを受け入れる。または知的障害が少くあり、医療的ケアのない重度肢体不自由の子どもがグレーゾーンとなっていて、利用できるサービスや施設が少ない。
 - (ウ) 24時間必要だが福祉サービスの利用が思うほどできず家族が頑張っている。家族の疲労が強く夜間眠ってしまうので自分自身の命の心配がある。
 - (エ) リハビリや入院などでこの子の育児優先の生活になってしまっている。きょうだい（兄）が思い切り楽しめる機会をつくりたい。きょうだいが主役となるような活動場所をつくるにはどうしたらよいか。
 - (オ) 子どもには重複障害があるが自分の考えをしつかりと持っており、自己のこだわりもある。通所施設での活動に不満を感じ本人の意思が尊重されていない。施設にお願いしてもなかなか個別に対応するのが難しいとのこと。違う施設を探しているが子どもが希望するような事業所が見つかからない。どのような施設があるのか紹介してほしい。
 - (カ) 親が高齢になり在宅が厳しくなってきた。普段の生活にはあまり支障はありませんがトイレ介助の移乗が大変です。1日に5〜8回、1回に係るのはわずか2から3分ですがかなりきついです。本人は在宅希望です。サービスを利用するにしてもたった数分のために使うのは難しいなと考えます。なるべく長く在宅で居られるための方法を知りたい。
 - (キ) 日中は生活介護施設に通っている。また週1回のショートも利用している。介護者である母親は働いており、家と通所施設との送り迎えを行うことが難しい。送迎は施設にお願いしているが、全部は行ってもらえず、一部は母親が行うこととなり、仕事に影響が出ることがある。
 - (ク) 移動支援事業については、市町村によって、始点、終点の考え方がまちまちであり格差が大きい。個別給付を検討すべき。佐賀市は、起点も終点も「自宅」にこだわっていることから、移動支援を使うと大きな無駄だとしても自宅に戻らなくてはならず、税金の無駄遣いである。
 - (ケ) 保護者の緊急入院などにより、子どもの預け先、ショートステイ先の受入れを緊急でも対応してくれる施設がないので困っている。
 - (コ) 目的までの送迎だけをお願いしなくてもサービスがない。
 - (サ) 移動支援が始まってからずっと利用しているので色々な問題も経験して来ている。出発が自宅、帰りも自宅という流れを守ってきた。しかし、グループホームに入居してからも移動支援を利用してしているが、帰宅する日に出発はグループホームでも帰りは自宅にはできないのか。帰宅する日は月に1度であるが、親がグループホームへ迎えに行くのは大変負担である。移動支援は市の管轄なので市に何とかならないかと相談したが、市は事業所との契約だから変えることはできない、と返答。もう一点は、長期休暇で1週間ほど家にいる間の移動支援の使い方も、わざわざグループホームへ送り・迎えに行くやり方しか認めてもらえないのは、本当に困る。
 - (シ) 自分も年をとってきて高齢の母を

休ませる意味でもショートステイを

利用しているが、一度に7泊8日の施設入所か、ショートステイ以外に家族を休ませる方法はあるのか？

(ス) 保護者の緊急入院などにより、子どもの預け先、ショートステイ先の受け入れを緊急でも対応してくれる施設が無いので困っている。

(セ) ショートステイは障害児者にとつて緊急時ですが、自立訓練のためにも必要な場所です。しかし全介助や見守りが必要な重度重複障害児者や医療的ケアが必要な人は利用することができない。どんなに重い障害があっても安心して利用できるよう、報酬額を上げ、専門員の人員を増員できるように制度にしてほしい。

(ソ) 高校を卒業して2年、今頃になって急に体が大きくなり車椅子のサイズが全然合わないが、県の方になかなか車いすを新しくしてもらうことが受け入れてもらえない。

(タ) 車いすの作製に時間が掛りすぎて、子どもが成長してしまふ。家のリフォームをしたが(エレベーターや昇降機)、経済的に厳しい。

(チ) 座位が取れるのでオムツの補助がありません。重度の知的障害(重症心身障害)のため排泄を伝えることができません。オムツの補助を願っ

ています。

(ツ) 日常生活用具の給付制度で紙おむつの給付を受けているがおむつ交換の際に必要なお尻拭きやおむつ替えシートに必要でこれがかんりの経済的負担となっている。これらは適用的外となっているので対象に加えてほしい。給付額を増やすのではなく範囲を拡大するのは行政の負担も増えないと思うのだが。

(テ) 日常生活用具の見直しで人工呼吸器や気管切開に限らず常時酸素濃縮器や吸引器を使用されている人も対象となりましたが、発電機燃料によるメリット、デメリットなどの知識がないため専門家の話を聞きたい。

(ト) 自分の体調が悪くなり、医療的ケアのある子どもを生活介護に預けたかった。介護タクシーを使って生活介護に子どもを連れていきたかったが、子どもだけの乗車は医療的ケアがあるから乗せてくれない。生活介護施設の方も契約日以外だったので送迎もできない。緊急時は臨機応変に対応できないのか？

(ナ) 両親の年金、自分の障害年金で生活しています。親は未だ介護認定を受けるのを嫌がり、病院の通院費もばかになりません(タクシー利用)タクシー以外で少しでも安価になる

方法はないのでしょうか。

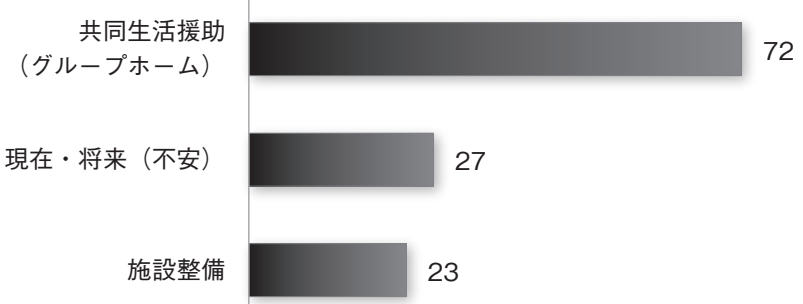
(ニ) 在宅、作業所に通いながら障害年金を受給して一人暮らしをしている。アパートの家賃や光熱費を払うと残りは慎ましい食費しか残らない。親も高齢になり負担をかけたくないのでなんとか1人で生活しているが余暇を楽しみ余裕もなく結婚もできない。将来が不安なので一般職に就きたいが就職先が見つからない。会で斡旋している就職先がないか尋ねたい。

住まいの場

共同生活援助(グループホーム)、現在・将来(不安)、施設整備

に分類した結果は図6の通りです。相談は、介護者(親等)の加齢と体力(健康)の衰えからくる不安が子どもの将来を「安心して生活できる場所がほしい」、「重度・医療的ケアの肢体不自由児者が暮らすことができる共同生活援助(グループホーム)の設置を望む」に集約されています。しかし、本音は現在の在宅生活を続けたいだが、施設の拡充が望めない(課題に思っている地域もある)ことから将来の住まいを共同生活援助(グループホーム)

図6 住まいの場



を望み、重度障害と医療的ケアに対応できる共同生活援助がないことから将来に不安をもたれています。

主な意見は、(ア) 両親が高齢になりGH入所を希望しているが、重症心身障害者に対応しているGHが見つからない。

新型コロナウイルス感染症

(イ) グループホームへの入居を考えているが、コロナ禍で施設見学もできず、父母の会の活動もストップしている状況で思いを伝える場もない。肢体不自由者が入居できるグループホームについては父母の会で何年も要望しているが、見通しは立っていない。今後どうなるのか。

(ウ) 親子3人で生活しています。近くに姉妹夫婦がおりますが親がどちらか亡くなったとき、どんな風な生活になるのかまだあまり想像できません。8050問題はそんなに遠い話ではありません。娘にはこの家で生活させてあげたいと思っています。自分の家を仲間と暮らせるGHにすることも可能かなとも思います。

(エ) 将来も「本人の楽しい生活」を確保したい。出来るだけ通所を続け将来は同施設に入所予定。将来の入所に向けてどこまで自分のことが出来るようになっておいたら良いのか？

(オ) 自分で意思表示が難しい子どもが親亡き後どんな状態で幸せに過ごせるのか日々悩んでいます。一人の人間として最後まで安心してお願いできる居場所があればと考えます。

令和元年末に始まった新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、寄せられた内容を「行動制限」「ワクチン接種」「感染対策」「検査」に分類し整理した結果は、図7の通りです。

発生から1年がたっても新型コロナウイルス感染症に対する情報不足が前述の分類にも現れています。「行動制限」では、感染拡大防止の観点から病院、通所作業所、短期入所や遊びを含めた外出規制に係わる相談と、面会でできないことから精神的に不安を抱えていること、ワクチン接種（場所、順位を含む）についての相談と共に検査・診療が受けられない、感染後の対策に不安など情報不足等に現れています。

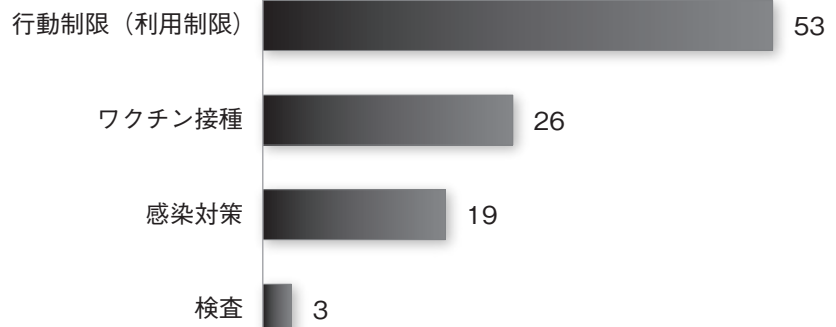
主な意見は、

(ア) コロナ禍で安心して外に出ることができない。障害者が安心して過ごせる場所はどこかと考えると、ステイホームしかない。ずっとくり返してしまふ。親子共々思いつきり楽しめる場所が欲しい。

(イ) 自分たちが高齢のため、やむなく施設に入所させたがコロナになって面会ができなくなり精神的につらい。

(ウ) 30才代の障害を持つ母親からの相

図7 新型コロナウイルス感染症



談。障害者の新型コロナウイルス感染症に対するワクチン優先接種対象は65歳以上（高齢者）接種後の「60歳以上基礎疾患の有る者」に分類されたが、重度障害者（重複障害・医

療的ケアの必要な障害者等）の場合、感染後の重症化リスクが高いと言われている。このため、特に重度障害者（重複障害・医療的ケアの必要な障害者等）が最優先でワクチン接種出来るよう要望する。

(エ) 現在、4〜6ヶ月に1度、神戸市立医療センターに人工内耳もマッピングに行っているが、私が行けなくなったなら誰が車で連れて行ってくれるのか。電車はコロナでは感染が心配で乗れない。命に関わる。

(オ) 作業所でコロナ陽性者が出て送迎車が一緒だったということ濃厚接触者となり、自宅待機で情報が入ってこず、生活のリズムも崩れたいへんな生活を送った。大阪府の相談場所やフォローがあればよかったのではないかと思う。

(カ) 新型コロナウイルス接種を通所している障害者施設で行ってほしい。

(キ) 肢体不自由児にとって必要不可欠なりハビリを、医療センターなどで安心して受けることができる機関で実施していただける回数は非常に少ないため、訪問リハなどで補いたい。しかし、利用の仕方がまちまちでしか情報がなく、自分で進めていくのはわからないことが多い。非常に困難なことが多いため、肢体不自由

児にもトータルコーディネイトしていただける、ケアマネのようなことを担って頂けるようにしてほしい。

教育

寄せられた相談を「教育相談（就学を含む）」「卒後の進路」「放課後等サービス」「通学支援」「療育・訓練」の5つに分類し整理した結果は、図8の通りです。

医療的ケアを伴う子どもに関する相談が療育、就学から卒業後までの広い範囲で寄せられています。

子育ての悩み、学校設備を含めた就学相談、卒後の進路（就職）先の生活を含めて、地域によって放課後等サービスの利用時間削減となかなか利用する場所がなくて困っています。医療的ケア児の通学手段としてのスクールバスに看護師が添乗する等の通学支援子どもの成長と性教育を含めての学習内容等の相談が寄せられています。

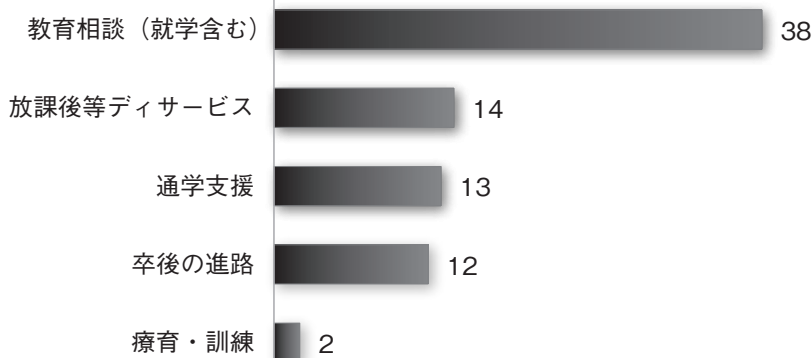
主な意見は、

(ア) 地元小学校に通学しているが、担任の先生が一人の場合が多く障害児の支援まで手が回らない場合が多い。学校側でも保護者との面接、授業内容別による支援等いろいろ考えて対

処してくれているが、障害児が学校生活を安心して過ごせるように支援員の増員ができないか。

(イ) 受給者証区分6の特別支援学校高等部3年生の女子生徒からの相談で

図8 教育



す。通学には、スクールバスを利用している（本人がバスに乗車してから、学校まで30分位）が、医療的ケアも必要なので、学校側との話し合いで、緊急事態が起きた時には救急車を呼んでいただくことになっていきます。しかし、緊急事態の時に救急車を呼ぶことだけでは、大変不安があるのです、スクールバスに医療行為ができる職員が配置されることを要望されています。

(ウ) 医療的ケアがあっても小学校（養護学校も）へ通うためのスクールバスに看護師を同乗させてほしい。

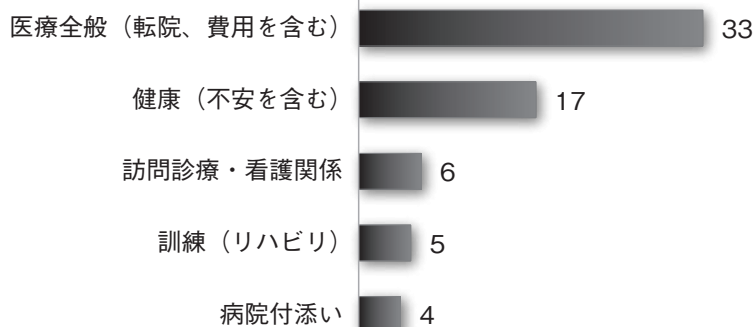
(エ) 通学支援を利用して支援学校に通っていますが、事業所がなかなか決まらず大変でした。ようやく受けてくださる事業所が決まりましたが、報酬も十分とは言えずボランティアのような形で受けていただいている状況です。対象事業者をすべて保護者が探すのは支援として不十分だと思います。

(オ) 放課後等サービスの利用で、発達障がいの場合、障がい（疑い）では、支給量の上限を一律に月15日にすると言われ、困っている。

医療

医療に関する相談を「医療全般（転院・治療費を含む）」「健康（不安）」「訪問診療・看護関係」「訓練・リハビリ」と「病院付添い」に分類し、そのグラフ結果は図9の通りです。

図9 医療



医療全般では、住む場所（地域）が

変わったり、地域医療機関等への転院、成長に伴って新たな病気での病院探し等の情報を求めています。加齢と体力低下によって体調を少しでも崩すと先々の健康に不安を抱えています。在宅生活を望む方は、歯科を含めて訪問診療・看護の事業所を探し、重度訪問介護サービス利用者しか病院の付き添いができない制度の改定を望んでいます。

主な意見は、

(ア) 医療について。定期的に診察を受けていた総合病院の皮膚科が無くなる予定。転院を勧められた。地域の皮膚科は多数あるが、電動車椅子を日中は使用しているため、施設内の移動ができない所ばかりで困っている。（間口が狭い、靴の履き替え）主治医から当面は内科で処方するが、地域で探すようにと助言された。

(イ) 入院時、重度訪問介護の利用者だけでなくみんながヘルパーを使えるようにしてほしい。

(ウ) 小児科の担当の先生がいる間は、小児科で診てもらえるが、その後は、内科に行くことになる。不安が大きい。

(エ) 年を重ねて自分の健康状態が良くなる、この先のことを考えると不安

になってしまう。

(オ) 心臓疾患があり入院を繰り返している。運動発達に遅れもあり児発※へつなげたいが訪問診療医が許可しない。まずは集団ではなく個別の療育を受けさせたいが父は仕事、母は外国人で運転できない。家にきてくれる療育はないのか？

(カ) 医療費の実費負担に対する助成を考えていただきたいです。特定疾患に該当していれば支払いが免除になる一方で、該当しないもしくは後天的な原因で治療を受けている者は頻りに通院・入院しても一割負担があり、不公平感があります。病名でひとくくりにするのはなく実際にかった医療費対しての助成であってほしいと思います。

(キ) MEIS作成を頼みたいが主治医の負担も大きく頼みにくい。
※児発・児童発達支援センター

【バリアフリー】(30)

【人材】(24) 【災害】(16)

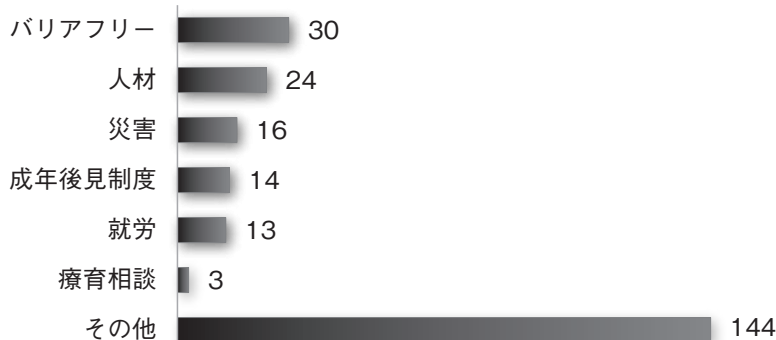
【成年後見制度】(14)

【就労】(13) 【療育相談】(3)

【その他】(144)

※()内の数字は件数その結果は図10の通りです。

図10 バリアフリー他



【バリアフリー】

公園、公共施設、交通機関の何れにおいてもトイレのベッドが介護ベッドに改善されていないため、不便さを感じています。地方だけでなく効率という面から少しずつ無人駅が生まれ、車いす利用者の外出に制約が生まれようとしています。また、バリアフリー法で公園のバリアフリー化を規定していますが、遊具まで及んでいません。インクルーシブ公園を望む声に現れています。

【人材】

福祉サービスの利用で支援員の人数が不足しているため生活介護や入浴介助で同性介護を受けることができません。受給者証があっても障害福祉サービスが利用されていない現状があります。

【災害】

昨今の自然災害の頻発で人工呼吸器、酸素吸入器等で生活している方から、非常用発電機・バッテリー予備購入の助成に関する要望があります。

【成年後見制度】

子どもが成人を迎えた時、悪徳商法から守るために必要と考えていることがアンケートからうかがえますが、費

用が掛かるといふ一方的判断で前に進むことができないため、研修（勉強）を望んでいます。

主な意見は、

(ア) 公園に出かけた時、友達や兄弟は楽しく遊具で遊んでいる中、娘は見ているだけで我慢させてしまっている。障がいがあっても安全に遊べる遊具のある公園があったら、みんなが楽しめると思う。そんな公園が当たり前になる日がいつか来ることを願っている。

(イ) おむつを取り替えるユニバーサルベッドの整備場所がわかりにくい。ベビーベッドはあるのに、ユニバーサルベッドは多目的トイレであっても設置されていないことが多く、事前に外出の計画を立てる時の支障となっている。ベッドの整備されているトイレがわかるよう、配置マップなどが欲しい。

(ウ) 車いすトイレに介護ベットの付いていないところが多いので、外出の際は、リクライニングバギー必須です。介護ベットがもっと増えてくれると嬉しいです。

(エ) 医療的ケアに対応できるヘルパーさんがいないので、ヘルパーさんを利用することが難しい。医療的ケアに対応できるように介護職員やヘル

パーさんの研修制度が出来ているが、周りには研修に参加したという人がいない。もう少しその人数を増やすような対策を考えて欲しい。

(オ) 男性ヘルパーがいないので自宅での入浴介助サービスを受けることができない。

(カ) GHで生活していますが携わる職員の待遇面、質の向上（研修等）が必要と思われまます。

(キ) 災害時の停電対策として発電機等購入補助金10万円は新設されたが、人工呼吸器に常に付属して使用する加湿器は含まれていません。加湿器にはポータブル電源（蓄電池）が必要不可欠です。それがないと痰が詰まってしまい呼吸を十分にサポートできません。

(ク) 成年後見制度が重度重複障害があり、意思疎通の難しい人のために本来に使いやすい制度にしてほしい。施設に入所のため親が後見人になっているが親が先に死んだらと思うと不安である。

(ケ) 親亡き後のこと。本人の生活、体調管理、金銭面など心配。

(コ) 成年後見制度について。利用するきっかけが分からない。費用負担が高額なようなので本人が支払っていかれるのだろうか。

その他は、ほとんどが各項目に分類しがたい内容ですが、「父母の会活動」「情報」「相談先を探している」に集約されますが、身近な所で、気楽に相談を求めています。

以上の「相談」から全ての分野において医療的ケア（医療行為）を含む重度障害児者を持つ親等から多数あり、「医療的ケア児等コーディネーター」の設定、「障害児計画」の策定等に積極的にかかわることが、サービス量の制限の改善、身近な生活支援策の構築に必要だと思います。また、全ての分野において「情報」を求めていることは、全肢連からの発信努力がまだまだと感じ、一層の取り組みと共に、心身障害児者に関する予算要望に生かしていきたいと考えています。

令和3年度 事業活動・収支決算報告

事業1

肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

- ①全国大会・ブロック大会の開催
- ◇第54回全国大会（第58回関東甲信越ブロック大会東京大会併催）
東京都 9月18日（ハイブリッド）
- ◇第16回北海道ブロック大会
札幌市 11月27日（オンライン）
- ◇第40回東北ブロック大会
秋田県 延期
- ◇第56回東北陸ブロック大会
福井県 中止
- ◇第55回近畿ブロック研究大会
大阪府 大会誌発行
- ◇第51回中国四国ブロック大会
山口県 11月13日（オンライン）
- ◇第37回九州ブロック大会
熊本県 10月31日（オンライン）
- ②総会、理事会など各種会議の開催
関係諸団体との連携
- ・通常総会（全国会長・事務局長会議）
6月29日 書面決議
- ・理事会・監事会の開催
第1回理事会 5月22日
リモート開催
- ・第2回理事会 9月18日
東京都大田区
- ・大田区産業プラザPiO 6階会議室
第3回理事会 令和4年3月4日
リモート開催
- ・臨時理事会 令和4年3月26日
リモート開催

- ・監事会 令和4年5月7日
東京都豊島区 全肢連事務局
- ③国・関係団体役職
- ・内閣府障害者政策委員会
委員 河井 文
- ・日本肢体不自由児協会
理事 石橋 吉章
- ・全国心身障害児福祉財団
評議員 荻野 義昭
- ・全国特別教育推進連盟
理事 河井 文
理事 原田由美子
- ・全国社会福祉協議会
協議員 石橋 吉章
協議員 荻野 義昭

- ④渉外関係
- ・関係団体との連携運動、行事・事業等への参加、後援・支援
- ・賛助会員の加入促進、支援企業とのコミュニケーション推進

事業2

肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

- ①機関誌、情報誌、指導誌等の発行
- ・「いずみ」の発行
155号/156号発行
- ・「わ」の発行
142号/143号発行
- ・「療育ハンドブック」47集の発行
- ・「全肢連情報」の発行
Vol.735～Vol.738
- ②インターネットによる情報の集散

事業3

支部父母の会育成強化に関する知識の普及と助成事業

- ①さわやかレクリエーション
66件（内定83件（中止17件））
- ②療育キャンプ
・日帰り 大阪府（1地域）
・1泊2日 北海道（1地域）
・日帰り2日間 広島県（1地域）
- ③地域指導者育成セミナー
全国7カ所（北海道、宮城県、山梨県、愛知県、兵庫県、愛媛県、大分県）
- ④フライングスター基金
アステラス製薬「車椅子送迎用車」の贈呈4台（福島県、岡山県、千葉県、奈良県）
- ⑤令和3年度新規事業
(1)ハンドアーチェリー大会
・実施期間…令和3年9月～12月
・開催箇所…全国11カ所
山形県、茨城県、東京都、愛知県、石川県、滋賀県、大阪府、奈良県、徳島県、宮崎県、沖縄県
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により都府県別対抗戦中止
- (2)あくと展覧会
・募集期間…
令和3年7月15日～9月15日
・応募数…519作品
・受賞作品…26作品
・Web展覧会…
全作品をホームページ上に展示

・展示期間…
令和4年1月20日～5月末迄

(3) On-line コンサート

- ・実施日
第1回 令和3年8月7日
参加人数約200名
- 第2回 令和3年11月21日
参加人数約100名
- ・参加者…
全国特別支援学校に通う児童・生徒、その家族。父母の会会員 他

事業4

肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業

- ・各種イベント事業
- (1)チャリティ・パーティー等への招待事業
・令和3年李富鉄税理士事務所主催クリスマスパーティー 中止
- (2)FVジャパンとのコラボレーション事業「第12回和やかレクリエーション『サンシャイン水族館』」中止
- (3)コカ・コーラ社とのコラボレーション事業（再掲）
- ・さわやかレクリエーション
- ・機関紙「わ」の発行
- ・ハンドアーチェリー大会
- ・あくと展覧会
- ・On-line コンサート

令和3年度収支決算報告

資金収支計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(収入の部)

大科目	中科目	令和3年度予算	決算額	増減額
会費収入	分担会費	4,500,000	4,235,000	265,000
	賛助会費	500,000	500,000	0
	会費収入合計	5,000,000	4,735,000	265,000
寄付・助成金収入	さわやかレクリエーション助成金収入	4,000,000	4,000,000	0
	渉外活動協賛収入	5,000,000	5,000,000	0
	公益財団助成金収入	4,505,000	3,335,615	1,169,385
	社会福祉法人助成金収入	900,000	816,229	83,771
	自販機還元金収入	20,000,000	20,358,999	△ 358,999
	寄付金収入	300,000	50,100,000	△ 49,800,000
	寄付・補助金等収入合計	34,705,000	83,610,843	△ 48,905,843
その他の収入	事業参加収入	9,741,100	0	9,741,100
	その他の雑収入	852,000	253,810	598,190
	受取利息	0	293	△ 293
	その他の収入合計	10,593,100	254,103	10,338,997
前期繰越収支差額		10,643,797	10,643,797	0
	合計	60,941,897	99,243,743	△ 38,301,846

(支出の部)

一般事業費	旅費交通費	1,200,000	1,682,433	△ 482,433
	通信運搬費	0	261,861	△ 261,861
	会長・事務局長会議	100,000	27,764	72,236
	理事会・事務局会議	1,200,000	232,919	967,081
	通信事業費	1,000,000	1,255,014	△ 255,014
	渉外費	200,000	0	200,000
	組織強化費	300,000	363,213	△ 63,213
	諸会費(分担金支出)	200,000	0	200,000
	助成事業拠出費	9,741,100	0	9,741,100
	自販機設置報償費	500,000	30,000	470,000
	60周年記念事業費	1,000,000	50,248	949,752
	事業費合計	15,441,100	3,903,452	11,537,648
渉外活動事業費	全国大会費	1,517,000	1,747,891	△ 230,891
	ブロック大会費	2,317,000	650,000	1,667,000
	障害福祉研修会	834,000	0	834,000
	会長・事務局長会議	1,517,000	0	1,517,000
	広報印刷費	1,261,000	1,211,532	49,468
	全肢連情報発行費	1,385,000	731,813	653,187
	広報宣伝費	558,000	89,537	468,463
	全国交流費	345,000	148,238	196,762
	文化美術費	447,000	418,960	28,040
	音楽フェスタ費	557,000	365,734	191,266
	事業費合計	10,738,000	5,363,705	5,374,295

さわやか事業費	さわやかレクリエーション助成費	4,790,000	3,928,822	861,178
	事業費合計	4,790,000	3,928,822	861,178
研修・啓発事業費	地域啓発・研修事業費	8,343,600	6,284,054	2,059,546
	事業費合計	8,343,600	6,284,054	2,059,546
相談・療育事業費	父母の会相談・療育事業費	1,626,500	1,187,328	439,172
	事業費合計	1,626,500	1,187,328	439,172
管 理 費	給 料 手 当	9,130,000	6,842,491	2,287,509
	退 職 給 付 金	0	1,530,000	△ 1,530,000
	法 定 福 利 費	1,514,000	1,039,170	474,830
	福 利 厚 生 費	150,000	38,177	111,823
	自販機管理運営費	1,000,000	962	999,038
	会 議 費	30,000	0	30,000
	旅 費 交 通 費	340,000	213,670	126,330
	通 信 運 搬 費	100,000	0	100,000
	消 耗 品 費	300,000	407,278	△ 107,278
	賃 借 料	2,500,000	2,059,200	440,800
	リ ー ス 料	550,000	639,214	△ 89,214
	備 品 費	50,000	272,447	△ 222,447
	水 道 光 熱 費	150,000	172,243	△ 22,243
	修 繕 費	50,000	0	50,000
	諸 謝 金	400,000	1,162,000	△ 762,000
	公益社団申請手数料	1,000,000	0	1,000,000
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	諸 会 費	20,000	240,000	△ 220,000
	保 険 料	20,000	4,120	15,880
	慶 弔 費	30,000	10,000	20,000
雑 費	300,000	490,017	△ 190,017	
	管理費合計	17,704,000	15,190,989	2,513,011
特定預金取崩収入	退職給付引当資産取崩	0	1,210,000	△ 1,210,000
	特定預金収入合計	0	1,210,000	△ 1,210,000
特 定 預 金 支 出	60周年記念事業費	0	0	0
	退 職 給 付 費 用	360,000	260,000	100,000
	特定預金支出合計	360,000	260,000	100,000
予 備 費	予 備 費	100,000	0	100,000
	予備費支出合計	100,000	0	100,000
次期繰越収支差額		1,838,697	64,335,393	△ 62,496,696
	合 計	60,941,897	99,243,743	△ 38,301,846

令和4年度 事業計画・収支予算・補助事業（案）

【事業計画の基本方針】

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症が終息していませんが、工夫を重ね継続事業の着実な実行と新規事業の研究、全国大会やブロック大会、研修会並びに、様々なツールを活用した情報収集と発信。助成事業の活用と関係団体や企業とのコラボレーション事業などを通じて、一般社団法人として事業全体の強化と充実を図る。

具体的には「肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業」、「肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業」、「支部父母の会育成強化に関する知識の普及と助成事業」、「肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業」、「重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在りかたに関する調査事業」の5事業を柱に実施する。

事業1

肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

1. 趣旨（目的）

全国の会員から出された意見・要望を集約して、中央行政機関、各地域福祉行政に対し実情のアピールと、政策提言を行うとともに、肢体不自由児者に対する総合的な調査研究を通じ、肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくることを目的とする。

2. 事業（内容、方法等）

① 全国大会並びブロック大会の開催

地域間の格差を解消し、全国的な意見の集約・提言、地域の現況把握、行動指針の確認等を行う場として全国大会・ブロック大会を開催する。その際、全国大会は、各ブロック持ち回りであることからマニユアル等作成するとともに、ブロック大会では遠方会員に配慮することも必要である。

※各大会で寄せられた意見提言は全国会員が共有できるように全肢連ホームページを充実・活用する。

① 全国大会・ブロック大会開催日程

◇ 第55回全国大会（第57回東海北陸ブロック大会愛知大会併催）
9月10日（土）～11日（日）
愛知県 ロワジールホテル豊橋

◇ 第32回北海道福祉大会
10月8日（土）～9日（日）
旭川市障害者福祉センター

◇ 第40回東北ブロック大会
9月17日（土）～18日（日）
秋田県 あきた芸術村

◇ 第59回関東甲信越ブロック大会
6月25日（土）
長野県 須坂市技術情報センター

◇ 第56回近畿ブロック研究大会
日程・会場調整中
滋賀県

◇ 第52回中国四国ブロック大会
10月15日（土）
島根県 大会記念誌発行

◇ 第38回九州ブロック大会
10月30日（日）
長崎県 ハイブリッド開催

② 全国大会開催予定について

◇ 令和5年（第56回）

中国四国ブロック 岡山県

◇ 令和6年（第57回）

近畿ブロック 奈良県

② 総会、理事会、専門委員会、研修会など各種会議の開催。関係諸団体との連携

総会、理事会、専門委員会等、各種会議を開催して、地域の情報の集散と情報提供を行うとともに、各種の研修会を開催して、知識の研鑽、意見集約、地域父母の会の活性化に繋げていく。

① 令和4年度総会・理事会の開催日程

◆ 通常総会（全国会長・事務局長会議）

5月14日（土） IKE・Biz（多目的ホール）

◇ 第1回理事会

5月14日（土） IKE・Biz（多目的ホール）

◇ 第2回理事会

9月10日（土） ロワジールホテル豊橋

◇ 第3回理事会

令和5年3月中旬（予定） 東京都内

（会場未定）

- ②講演会、研修会の開催
- ◇講演会・各種研修会の実施 未定

事業2

肢体不自由児者福祉に関する 社会的啓発事業

1. 趣旨(目的)

肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発のため、様々な媒体を通して公益性を高める広報事業や印刷物の出版等を行う。あわせてインターネットによる情報発信を行う。

2. 事業(内容、方法等)

- (1)機関誌、広報誌、情報誌等の発行
 - ・「いずみ」の発行(年2回)
 - 157号(6月20日発行)
 - 158号(12月20日発行)
 - ・「わ」の発行(年1回)
 - 144号(3月20日発行)
 - ・全肢連情報(月1回)
 - 毎月15日とし必要に応じ臨時の発行を行う。
 - ・その他印刷物の出版
 - (2)インターネットによる情報の集散
 - ◇全肢連ホームページの拡充
 - ・全肢連ホームページ
- <http://www.zenshiren.or.jp/>

- ・都道府県肢連ページの充実

<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/28/>

- ・フェイスブックの運用

<http://www.facebook.com/ZENSHIREN>

◇各地域の活動に関する相互交流と啓発の場として最新情報の発信などを行う。

事業3

支部父母の会育成強化に関する 知識の普及と助成事業

1. 趣旨(目的)

地区父母の会の育成、活性化を図り知識の普及と助成を行うためこの事業を行う。

2. 事業(内容、方法等)

- (1)地区父母の会で実施する療育事業等への助成
 - 地域の肢体不自由児者父母の会の発展と障害者福祉の向上に寄与し、地域住民の障害者に対する理解増進、支援の輪を広げることにより、もって社会基盤の整備に貢献する事を目的に、以下の事業を展開するとともに助成を行う。
- ①さわやかレクリエーション事業(コカ・コーラシステム助成事業)

(a)事業の目的

さわやかレクリエーション事業は、「ふれあいの輪を広げるキャンペーン」の一環事業として障害児者とその家族が地域住民やボランティアなどとの交流を深め、リフレッシェを図るとともに、父母の会の活性化に繋がる事業、障害児者の社会参加活動の一助となる事業として、コカ・コーラシステムから支援をいただき療育事業として助成されてきた。

(b)助成対象者

都道府県肢連(支部、地区父母の会を含む)但し県肢連を通して申請)が実施する行事や事業。

(c)実施対象期間

2022年6月～2023年1月の期間に実施すること。この期間以外は対象外とする。

(d)実施予定件数

申請受付件数87件
助成内定数86件
助成金内定額400万円(予定)

■対象事業となるテーマ

- ・スポーツや芸術活動への参画等への支援事業
- ・地域住民と考える様々な災害への備え(自助・共助への取組みの推進)等への支援事業。

- ・レジャー活動、会員間の親睦、レクリエーション、外出の機会等への支援事業

②第2回あくと展覧会2022事業

(a)事業の目的

「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」を契機に、全肢連では文化・芸術を通し障害児者や家族が、多くの人に自分の作品やパフォーマンスをみてもらう喜び、一つの作品を完成させることで味わう達成感。生きがいや楽しみを見つけるきっかけ作りになると考える。

全国特別支援学校や事業所から参加を得るとともに作品を募集することで全肢連を知ってもらう機会となり新規会員獲得に繋げる。

(b)対象者

全国特別支援学校、事業所、父母の会会員

(c)募集期間

2022年6月～9月末(予定)

(d)事業内容

- ・対象作品…絵、書道、コンピュータアート、フォト、工作等
- ・選考方法…審査委員会
- ・選考結果…2022年11月(予定)
- ・展覧会…2023年1月～5月末(予定)ホームページ上で全作品を展示

・入賞作品を用いてカレンダー作成。
入賞者へは賞状・副賞を贈呈

・全国7カ所で実施
北海道ブロック

③ Onlineコンサート事業

(a) 事業の目的

音楽と触れ合う楽しさを通じて心豊かなひとときを過ごしてもらうことを目的とする。

(b) 対象者

全国特別支援学校に通う児童・生徒とその家族・友人、都道府県肢連会員
(c) 実施期間 1回 ※日程未定
(d) 事業内容

音楽、ミュージカル、ダンス等のオンライン配信

④ 療育キャンプ

地域父母の会を対象に療育キャンプへの助成を行う。

・日帰り 3地域 未定
・1泊2日 3地域 未定

(JKA補助事業・全国心身障害児福祉財団助成事業)

⑤ 地域指導者育成セミナー

◇テーマ 肢体不自由児者に対する合理的配慮に基づく「車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用について」(仮題)

7月9日(土)～10日(日) 北海道
東北ブロック

7月23日(土)～24日(日)

岩手県

10月22日(土)～23日(日)

千葉県

11月26日(土)～27日(日)

愛知県

10月15日(土)

奈良県

8月27日(土)～28日(日)

山口県

11月19日(土)～20日(日)

福岡県

(JKA補助事業)

⑥ 障害児者と家族の生活相談事業

・「入所・在宅など生活相談」を実施、助成する
(全国心身障害児福祉財団助成事業)

⑦ アステラス製薬 令和4年度フライングスター基金 「車いす送迎車」の寄贈

寄贈

・推薦受付期間

令和4年4月26日(火)～令和4年6月6日(月) 原本必着(郵送)

・寄贈車両4台(普通車輛3台、軽車輛1台車種未定)

寄贈

⑧ 障害児者福祉増進事業

・障害児者福祉増進事業にあつて、団体・個人の事業で他の範となる取り組みに対し助成する

事業4

肢体不自由児者と家族の

生活の質を高める事業

1. 趣旨(目的)

肢体不自由児者の福祉増進を目的として、その目的を達成するために公益性のある必要な事業を実施する。

2. 事業(内容、方法等)

(1) 生活の質を高める各種事業

在宅を余儀なくされる障害者やその家族のために、生活の質の向上、社会参加の一助となり、生きがいのある充実した生活を営める、各種イベント等への招待事業を企画、実行するとともに、それを支えるボランティアや支援者の育成を図る。

① チャリティ・パーティ

李富鉄税理士事務所主催クリスマスパーティ

② コカ・コーラ社とのコラボレーション

事業

各都道府県肢連、地域父母の会での自動販売機設置について。

・公共施設、企業等への働きかけについての説明

・都道府県肢連所在地のコカ・コーラ工場視察とふれあいのイベント

事業5

重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在りかたに関する調査事業

2020年度実施した調査事業を補完するため、重度障害者等の住まいの在りかたについて全国1741市区町村の障害福祉計画への位置付け、障害福祉サービスの基盤と提供体制等について、全国自治体に対する悉皆調査(日本財団補助事業)



令和4年度収支予算 (案)

令和4年度予算案

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(収入の部)

大科目	中科目	令和4年度予算案	令和3年度予算合計	増減額
会費収入	分 担 会 費	4,500,000	4,500,000	0
	賛 助 会 費	500,000	500,000	0
	会費収入合計	5,000,000	5,000,000	0
寄付・助成金収入	療育事業助成金収入	4,000,000	4,000,000	0
	渉外活動協賛収入	0	5,000,000	△ 5,000,000
	公益財団助成金収入	5,999,000	4,505,000	1,494,000
	公益財団助成金収入	900,000	900,000	0
	公益財団助成金収入	3,270,000	-	3,270,000
	自販機還元金収入	21,000,000	20,000,000	1,000,000
	寄 付 金 収 入	300,000	300,000	0
	寄付・補助金等収入合計	35,469,000	34,705,000	764,000
その他の収入	特別会計繰入金	5,610,500	9,741,100	△ 6,295,600
	参加者負担金	0	852,000	1,313,000
	その他の雑収入	50,000	-	50,000
	受 取 利 息	0	-	0
	その他の収入合計	5,660,500	10,593,100	△ 4,932,600
前期繰越収支差額		64,335,393	10,643,797	53,691,596
合 計		110,464,893	60,941,897	49,522,996

(支出の部) 一般会計・特別会計

事業費 (ハンドアーチェリー) (アートフォトコンテスト) (online コンサート)	全国大会・ブロック大会	3,800,000	3,834,000	△ 34,000
	会長・事務局長会議費	1,500,000	1,200,000	300,000
	理事会・事務局会議費	-	1,517,000	△ 1,517,000
	理事・監事会費	1,200,000	100,000	1,100,000
	〃	100,000	1,200,000	△ 1,100,000
	通信事業費	1,200,000	1,000,000	200,000
	広報印刷費	800,000	1,261,000	△ 461,000
	全肢連情報発行費	550,000	1,385,000	△ 835,000
	広報宣伝費	100,000	558,000	△ 458,000
	障害福祉研修会費	-	834,000	△ 834,000
	印刷費	200,000	-	200,000
	全国交流費	-	345,000	△ 345,000
	文化芸術費	1,000,000	447,000	553,000
	音楽フェスタ費	300,000	557,000	△ 257,000
	通信運搬費	300,000	-	300,000
	渉外費	100,000	200,000	△ 100,000
	組織強化費	400,000	300,000	100,000
	全肢連育英基金	200,000	-	200,000
	諸会費(分担金支出)	250,000	200,000	50,000
	補助事業拠出金	3,445,500	9,741,100	△ 6,295,600
	自販機管理運営費	600,000	1,000,000	△ 400,000
自販機設置報償費	300,000	500,000	△ 200,000	
60周年記念事業費	700,000	1,000,000	△ 300,000	
事業費合計	17,045,500	27,179,100	△ 10,133,600	

【1-特別会計・療育（親子ふれあい）事業】				
さわやかレクリエーション	父母の会助成事業	4,790,000	4,790,000	0
1-特別会計合計	療育事業費合計	4,790,000	4,790,000	0
【2-特別会計・療育（JKA）事業】				
指導誌等啓発事業	指導誌発行費	0	713,500	△ 713,500
	機関紙発行費	1,184,000	941,000	243,000
療育訓練事業	療育キャンプ費	1,568,000	1,180,100	387,900
療育研修費	育成セミナー費	6,689,000	5,509,000	1,180,000
2-特別会計合計	事業費合計	9,441,000	8,343,600	1,097,400
【3-特別会計・療育（全国福祉財団）事業】				
療育訓練事業	療育キャンプ費	562,000	802,000	△ 240,000
療育相談事業	相談事業費	606,000	681,000	△ 75,000
療育研修費事業	研修事業費	90,500	143,500	△ 53,000
3-特別会計合計	療育事業費合計	1,258,500	1,626,500	△ 368,000
【4-特別会計・調査（日本財団）事業】				
調査事業		4,290,000		4,290,000
4-特別会計合計	調査事業合計	4,290,000		4,290,000
	特別会計合計	19,779,500	14,760,100	5,019,400
	事業費合計	36,825,000	41,939,200	△ 5,114,200
管 理 費	給料手当	9,000,000	9,130,000	△ 130,000
	法定福利費	1,450,000	1,514,000	△ 64,000
	福利厚生費	150,000	150,000	0
	会議費	30,000	30,000	0
	旅費交通費	340,000	340,000	0
	通信運搬費	100,000	100,000	0
	消耗品費	200,000	300,000	△ 100,000
	賃借料	2,500,000	2,500,000	0
	リース料	560,000	550,000	10,000
	備品費	100,000	50,000	50,000
	水道光熱費	150,000	150,000	0
	修繕費	50,000	50,000	0
	諸謝金	1,200,000	400,000	800,000
	公益社団申請手数料	1,000,000	1,000,000	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	諸会費	20,000	20,000	0
	保険料	20,000	20,000	0
	慶弔費	30,000	30,000	0
	雑費	300,000	300,000	0
	職員退職金	0		0
	管理費合計	17,270,000	16,704,000	566,000
特定預金支出	60周年記念事業費	0		0
	全肢連育英基金	50,000,000		50,000,000
	退職給付費用	240,000	360,000	△ 120,000
	特定預金支出合計	50,240,000	360,000	49,880,000
予 備 費	予 備 費	100,000	100,000	0
	予備費支出合計	100,000	100,000	0
次期繰越収支差額		6,029,893	1,838,697	4,191,196
	合 計	110,464,893	60,941,897	49,522,996

全肢連として令和4年度に向けての 活動目標と方針

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
会長 清水 誠 一

令和2年1月以来の新型コロナウイルスによる感染は、今年1月の第6波を経て未だ終息の見通しはついておりませんが、日常的な感染予防対策を十分に講じ、コロナ感染に有効な新薬が普通に医療機関で投与される日も間近に迫っていると期待する一方で1日も早い終息を願っている今日この頃です。

全肢連は昨年（令和3年）結成60周年を記念した全国大会を東京都で人数を制約した会場参加者とYouTube配信のハイブリッド方式で開催する事ができました。尚、全国6ブロック大会も中止を余儀なくしたブロックの他オンライン・大会誌発行等工夫を凝らし実施できたのが4ブロックとなりました。

地域指導者育成セミナー「重度障害者対応GHを学ぶ」についても、コロナ感染者が減少した11月を中心に全7ブロックで実施し都道府県肢連・父母の会皆さまの結束を確認できました。

新規会員増強を目的にした、第1回「あ〜と展覧会」は父母の会・支援学校・生活介護事業所に募集した結果、絵画・書・写真・コンピューターアートで500点を超える応募があり文化・芸術面で生きがいや楽しみを見つけると同時に若い世代の方々に全肢連を知ってもらう機会になったと考えています。

令和4年度も全国大会・ブロック大会等の「Ⅰ. 肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業」、いずみ・わ・全肢連情報・HP発信等の「Ⅱ. 肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業」、さわやかレク・あ〜と展・onlineコンサート・JKA財団法人等の「Ⅲ. 支部父母の会育成に強化に関する知識の普及と助成事業」、コカ・コーラ社とのコラボ等の「Ⅳ. 肢体不自由児者とその家族の生活の質を高める事業」の4事業を柱に進めてまいります。特にJKA財団助成事業の地域指導者育成セミナーでは「車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用（昨年の療育ハンドブック47集）」を取り上げ特別支援学校・理学療法士会へも参加の輪を広げた企画としました。

本年度は、令和2年度実施した日本財団助成事業の「重度障害者対応共同生活援助（GH）の支援体制の在りかた」調査でGH設置が進まない要因は現在の制度上の問題と捉えその解消に向け、「重度障害児者（医療的ケアを含む）が地域格差なく暮らせる社会の創造」として全国1741市区町村・父母の会員・事業所に対し、障害福祉計画への位置付け、障害福祉サービスの基盤と提供体制、地域間でのサービス格差実態等について調査を行います。

令和6年4月から次期障害児者福祉計画、障害福祉サービス等報酬改定の見直しの年にあたります。現在の障害福祉サービスの決定権は市区町村にあり、重度重複障害者等のサービスのあり方を本調査で明らかにし、実態に沿った制度となるよう来年9月までに修正・改正点をまとめる考えです。

終わりに、日本財団調査は2か年を予定しております。また、私たちの組織活動費の主要な財源でもあります『コカ・コーラ福祉自動販売機の設置促進』に向けて更なるご協力をお願いいたします。

各都道府県肢連、地域支部（父母の会）の皆さまの更なるご隆盛とご健勝を祈念し挨拶といたします。

第55回 全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会 第57回 東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会 愛知大会 開催案内

大会テーマ

「住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!」

趣 旨

人は働くことで生活をするためのお金を得ています。働くことができない障がい者も生活はしなければなりません。

仕事ができても、普通に生きるための賃金がもらえない人が殆どです。

では、障害年金だけで自分らしく生きるための自己決定をし、自分らしい暮らしができるのでしょうか。

障がい者が一人で暮らすことは大変なことです。

ヘルパーさんをお願いしながら暮らしている人、グループホームで暮らしているがいます。社会資源には限りがあり、それがかなわない人、特に重度重複障がい者や医療的ケアが必要な場合、高齢になった親自身にも不安があったとしても、親元で暮らすしかない障がい者が多くいます。自分らしい生き方とは人それぞれに思いが違います。

どんなに障がいが高くても、輝ける日々をすごすこと、家族に重い負担をかけずに生きること、障がいがあっても働く意欲を持ち続けること、地域社会の中でみんなと一緒に暮らしたいと思うこと……どれもそんなに贅沢な望みではないと思います。

そんな望みを叶えられるよう私たちは声を上げていきます。

「わたしはここにいます。」この声に耳を傾けてください。

開催日時 令和4年9月10日(土)～11日(日)

会 場 ロワジールホテル豊橋 1階ホリデイホール
(愛知県豊橋市藤沢町141 / TEL: 0532-48-3131)

申込受付

● **申込方法** インターネット(全肢連ホームページ <https://www.zenshiren.or.jp/>)
もしくは、FAX(0532-55-8602 名鉄鉄観光サービス(株)豊橋支店)
より申込みください。

● **申込期間** 令和4年6月13日(月)～7月27日(水)

● **大会参加費** 3,000円(税込み)



※QRコードよりweb申込可

※詳細については「大会参加申込のご案内」を確認ください。

令和4年度 さわやかレクリエーション開催予定一覧表

令和4年6月1日現在

都道府県	開催予定日	事業名	会場名	一般参加受入可否		
				可		不可
				無料	有料	
千葉	5月1日	新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練	にじと風 他	○		
大阪	6月11日	ポッチャ大会	箕面市立障害者福祉センターささゆり園			○
神奈川	6月12日	日帰りバス旅行「雨敬園(サクランボ狩り)」	山梨県「雨敬園」		○	
岩手	6月15日	レジャー活動・余暇活動	岩手県勤労身体障がい者体育館	○		
東京	6月18日	心と体のリフレッシュ講習会「音楽療法」	梅丘パークホール	○		
京都	6月21日	京都市行政との懇談会	京都テルサ(及びオンライン)			○
岐阜	6月26日	障害児者の社会見学	蒲郡オレンジパーク			○
愛知	6月26日	西尾張ブロック連絡協議会 オンライン運動会	一宮「ボブラ児童クラブ」	○	○	
広島	6月26日	日帰り旅行	香川県四国水族館・うちわの港ミュージアム			○
大阪	7月5日	親・家族交流会	アートホテル大阪ベイタワースカイビューカフェ51			○
奈良	7月9日	クイズで探索～なら歴史芸術文化村～	なら歴史芸術文化村			○
石川	7月16日	本人部会・金沢港クルーズターミナルを満喫!	金沢港クルーズターミナル		○	
愛知	7月24日	西尾張ブロック連絡協議会 野外療育キャンプ	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館			○
鳥取	7月31日	支え合仲間との自然体験活動	浦富海水浴場 岩美町立渚交流館		○	
滋賀	8月予定	親子療育キャンプ	セトレマリーナ琵琶湖	○		
神奈川	8月1日～9月30日	日帰りバス旅行	山梨県			
沖縄	8月14日	ハンドアーチェリー大会	生活サポートセンター まあ～る	○		
和歌山	8月19日～20日	障害児者親子の集い	ホテル&リゾート和歌山みなべ		○	
神奈川	8月20日	第7回関東さわやかポッチャ大会	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール		○	
大阪	8月25日	障害のある人が使える制度や成年後見制度についての講演会	岸和田市総合福祉センター	○		
東京	9月予定	日帰りレクリエーション	マクセルアクアパーク品川		○	
三重	9月11日	バス旅行による交流会	豊橋市のんほいパーク		○	
愛媛	9月11日	命を守る知識と実演	松山市総合福祉センター 大会議室	○		
宮崎	9月18日	親睦会2022	高千穂牧場		○	
山梨	9月24日	秋の交流の集い	富士見高原リゾート			○
大阪	9月30日	お楽しみ企画バスレクリエーション	神戸ポートミュージアム atoa (アトア)		○	
茨城	10月予定	ふれあい事業	アクアマリンふくしま		○	
福井	10月予定	福井の宝を再発見 恐竜博物館と奥越巡り	福井県立恐竜博物館			○
奈良	10月1日	音楽を楽しむ会 ～はもりベコンサート～	いかるがホール 小ホール	○		
岡山	10月1日	目指せ!オリンピック!ポッチャ編	岡山ふれあいセンター		○	
山梨	10月2日	甲府市障害者野外訓練	山中湖花の都公園		○	
岡山	10月2日	50周年記念式典	ライフパーク倉敷			○
香川	10月2日	おうちde旅気分(オンラインバスツアー)	各自自宅			○
石川	10月9日	新・石川県立図書館を歩く!	石川県立図書館	○		
愛知	10月9日	ホースセラピー体験会	RDA 愛知ピッコロファーム		○	
福岡	10月15日	ミュージック&フェスタ	NPO法人 ばでい障がい福祉サービス事業所ゆい	○		
神奈川	10月16日	日帰りバス旅行「マザー牧場」	マザー牧場		○	
愛知	10月16日	野外例会(日帰りバス旅行)	リトルワールド			○
宮城	10月22日	復興の街石巻を探検	石巻魚市場		○	
福島	10月22日	地域住民とのレクリエーション	須賀川市民交流センター	○		
沖縄	10月23日	バーベキュー交流会	TERUMA ～east coast～		○	
東京	10月24日	第9回障害当事者と共に考える地域防災のすすめ	台東区生涯学習センター 301会議室	○		

都道府県	開催予定日	事業名	会場名	一般参加受入可否		
				可		不可
				無料	有料	
大阪	10月26日	日帰り旅行	大阪城公園・大阪中之島美術館		○	
福島	10月29日～30日	みんなでのびのび製作交流体験	国立那須甲子青少年自然の家		○	
愛知	10月29日	わいわいカーニバル	岡崎中央総合公園武道館			○
奈良	11月5日	淡路ワールドパーク ONKORO 社会見学事業	淡路ワールドパーク		○	
熊本	11月6日～27日	アート作品を作ろう	生活介護支援センターあゆみ	○		
秋田	11月12日	父母の会お楽しみ会	秋田市育明会 デイサービスセンターふきのとう	○		
島根	11月13日	会員・家族・地域との交流事業(ポッチャ競技)	いきいきプラザ島根(体育館)	○		
東京	11月15日	グループホーム、入所施設等すまいについての研修会	杉並区障害者福祉会館		○	
神奈川	11月19日	日帰りバスツアー	東京OR伊豆			○
石川	11月19日	ひとみきらきら ころもかぼか 絵本教室	石川県立いしかわ特別支援学校多目的室	○		
茨城	11月20日	屋外活動及び会食懇親会体験事業	牛久大仏、牛久シャトー		○	
愛知	11月20日	東三ブロック 療育キャンプ(短編映画上映会とホテルランチ)	ホテルシーパレスリゾート	○		
沖縄	11月20日	ひかりの散歩道(南国イルミネーション)	東南植物楽園			○
大阪	11月25日	冬期レクリエーション	摂津峡花の里温泉 山水館			○
神奈川	11月26日	みかん狩り	竜和園(みかん園)		○	
兵庫	12月予定	ルミナリエ	ルミナリエ	○		
広島	12月予定	クリスマス会	広島県心身障害者福祉センター	○		
山形	12月3日	クリスマス会	山形市総合福祉センター			○
徳島	12月3日	障がい者の働き方、未来のカタチを考える	アスティとくしま	○		
徳島	12月3日～4日	バリフリ模擬カフェで、働く楽しさ見つけよう	アスティとくしま	○		
徳島	12月3日～1月31日	YouTubeチャンネルの活用	アスティとくしま	○		
北海道	12月4日	クリスマス会	札幌市北翔養護学校 体育館		○	
長野	12月4日	サンタさんと楽しいクリスマス会	信州松本美ヶ原温泉「翔峰」		○	
京都	12月8日	クリスマス会	京都ブライトンホテル			○
栃木県	12月10日	お楽しみ会	サンアビリティーズ			○
愛知	12月10日	父母の会東三河 難病ネットクリスマス会	豊橋市障害者福祉会館さくらピア		○	
北海道	12月11日	クリスマス会	旭川市障害者福祉センター 体育館			○
茨城	12月11日	クリスマス会	境町社会福祉会館			
石川	12月11日	からーずのクリスマス交流会	ホテル日航金沢			○
愛知	12月17日	刈谷市肢体不自由児・者父母の会 クリスマス会	刈谷市心身障害者福祉会館 体育館			○
愛知	12月17日	さわやかレクリエーションふれあいクリスマス交流会	小牧市ふれあいセンター		○	
山口	12月17日	クリスマス会(会員親睦会)	長門市物産観光センター		○	
茨城	12月18日	クリスマス会	古河市総和福祉センター「健康の駅」		○	
愛知	12月18日	東三ブロック父母の会 合同クリスマス会	豊橋総合福祉センター「あいつピア」多目的ホール			○
愛知	12月18日	一宮市肢体不自由児者父母の会 クリスマス会	一宮市尾西障害学習センター	○	○	
宮崎	12月18日	クリスマス会	日南市都市農村交流センター		○	
島根	12月23日	会員・家族・地域との交流事業(クリスマス会)	東部島根医療福祉センター	○		
北海道	1月15日	新年交流会	ホテル函館ロイヤル		○	
大阪	1月20日	社会参加交流事業	水間寺・泉佐野漁協青空市場			○
石川	1月24日	研修会「きらきら活きる」	ホテル金沢		○	
香川	1月28日～29日	さぬきロックンロールサーカス2023	高松国分寺ホール		○	
長野	1月29日	いちご狩りと交流会	長野ベリーファーム			○
奈良	1月31日	令和4年度パソコン講習会事業	奈良県社会福祉総合センター			○
沖縄	1月予定	懇話会(勉強会)	沖縄市福祉文化プラザ 交流ホール	○		

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

2022.6.1現在

名称 / 代表者	連絡先	事務局開局時間 / E-mail
一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会 会長 清水 誠一 事務局統括次長 原田由美子	〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709 TEL: 03-3971-3666 / FAX: 03-3971-6079	9:00~17:00 (月~金) zenshiren@zenshiren.or.jp
公益財団法人 北海道肢体不自由児者福祉連合協会 会長 清水 誠一 事務局長 加藤 英明	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センタービル4F TEL: 011-241-8391 / FAX: 011-251-5027	9:00~17:00 / 月~金 doshirenkyo@h-doshikyoo.jp
青森県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 四戸 龍英 事務局長 石岡 千鶴子	〒036-8217 青森県弘前市茂森町137 株式会社ダイヤモンドアップル内 TEL/FAX: 0172-88-7668	不定 なし
秋田県肢体不自由児者父母連合協会 会長 金 登美一 事務局長 渡邊 啓宇	〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉 会館内 TEL: 018-864-2784 (不在時は事務局長の携 帯に転送されます) / FAX: 018-828-0827	10:00~12:00 / 火・金 k-watanabe@kusakai.co.jp
岩手県肢体不自由児・者父母の会 会長 工藤 真弓 事務局長 今野 紀子	〒020-0122 岩手県盛岡市みたち1-6-2 好望・恕内 TEL: 019-647-8941 / FAX: 019-656-1084	不定 kobojo02@polka.ocn.ne.jp
山形市・県肢体不自由児者父母の会 会長 椿原 和子 事務局 伊藤 優子	〒999-3121 山形県上市市東町3-30 こ・こあハウス気付 TEL/FAX: 023-666-8616 (伊藤優子宅)	不定 ycomasashun622@yahoo.co.jp
宮城県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 永井 一男 事務局 下山 恵子	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2 宮城県障がい者福祉協会 TEL: 022-293-2902 / FAX: 022-291-1588	9:00~17:00 / 木曜 (週1) miyagikensiren@gmail.com
(一社) 福島県手をつなぐ親の会連合会 会長 七宮 弘 事務局長 丹治 洋子	〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会 福祉センター内) TEL/FAX: 024-522-7228	9:00~17:00 / 月~金 fukushimakenrengokai@rose.plala.or.jp
栃木県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小林 厚子 事務局 武藤 由美	〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内 TEL/FAX: 028-621-3031	9:00~16:00 / 月・水・金 (週3) tochishikyoo@iaa.itkeeper.ne.jp
茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 御代川 栄子 事務局長 村田 裕二	〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内 TEL: 029-243-3838 / FAX: 029-243-3854	9:00~17:00 / 月~金 iba-ikufubo@bz03.plala.or.jp
群馬県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 上原 奉洋 事務局長 斎藤 寛	〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原1154-11 (上原様方) TEL/FAX: 0277-72-3868	不定 uehara.yasuhiro@sepia.plala.or.jp
埼玉県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小泉 俊男		不定
千葉県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 西脇 理知子 事務局長 中臺 あしこ	〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-27-20 わかば会館内 TEL/FAX: 047-422-0890	10:30~14:30 / 火・金 (週2) ashiko26hs@yahoo.co.jp
一般社団法人 東京都肢体不自由児者父母の会連合会 会長 河井 文 事務局長 上野 賢	〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-3-12 (上野) TEL: 03-5956-3335 / FAX: 03-5956-3336	9:00~17:00 / 月~金 toushiren@toushiren.or.jp
神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 光延 貞真 事務局長 高野 幸子	〒252-0814 藤沢市天神町3-8-7-104 光延卓真 (通知文のみ、また急ぎの場合) TEL: 0466-83-4557 / FAX: 0466-83-4557 (光延宅)	10:00~16:30 / 月・火・木・金 (週4) nyrhpl08@ybb.ne.jp
山梨県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 旭 喜彦 事務局長 河田 あけみ	〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居540-7 (河田様方) TEL: 090-6143-6142 / FAX: 055-275-0536	9:30~18:00 / 月~金 akemi_129@yahoo.co.jp
長野県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 浅井 茂 事務局長 上野 智恵子	〒380-0936 長野県長野市大字中御所字岡田98-1 長野県長野保健福祉事務所1階 TEL: 026-224-2827 / FAX: 026-217-2175	9:00~14:00 / 月・水・金 (週3) naganokennsirenn@yahoo.co.jp
新潟県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 寺山 仁一 事務局 五十嵐 聡美	〒950-0121 新潟県新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内 TEL/FAX: 025-381-1519	不定 niigatakenshiren@rainbow.plala.or.jp
富山県肢体不自由児者父母の会連合会 会長代行 磯好 満	〒939-2376 富山県富山市八尾町福島625-1 (会長代行自宅) TEL/FAX: 076-454-6675	10:00~16:00 / 火~金 (週4) なし
石川県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 松田 郁夫 事務局長 高田 茂	〒920-8557 石川県金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館内 TEL/FAX: 076-224-6126	9:00~17:00 / 月~金 ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp
福井県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小森 宗治 事務局長 山田 須美恵	〒918-8018 福井県福井市大島町戌亥402-21 (山田様方) TEL/FAX: 0776-36-6829	9:00~17:00 / 月~金 sumisumin04@gmail.com
岐阜県肢体不自由児者障害児者父母の会連合会 会長 日比 奈緒美	〒503-0971 岐阜県大垣市南一色町683-45 (日比様方) TEL/FAX: 0584-75-1277	不定 なし
一般社団法人 静岡県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 大石 辰夫 事務局 小林 妙子	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館シズウエル3F TEL: 054-266-3465 / FAX: 054-266-3466	10:00~16:00 / 月~金 shizu.kenshiren@cy.tnc.ne.jp
愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 荻野 義昭 事務局 加藤 歩	〒444-0944 愛知県岡崎市北本郷町神明25 (会長自宅) TEL: 0564-31-6096 / FAX: 0564-32-0487	不定 czf12356@sf.commufa.jp

名称 / 代表者	連絡先	事務局開局時間 / E-meil
三重県肢体不自由児(者)父母の会連合会 会長 鈴木 錠平	〒510-8036 三重県四日市市南垂坂町810-47(会長宅) TEL/FAX: 059-333-0005	不定 johei-s328@qc.commufa.jp
滋賀県障害児者と父母の会連合会 代表 植松 潤治 事務局 瀬戸・古川	〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 湖南ホームタウン内 TEL: 077-583-6395 / FAX: 077-514-1702	10:00~17:00 / 月~金 fubonokai@open-mind.jp
公益社団法人 京都市身体障害児者父母の会連合会 会長 岡 千栄子 事務局 久門 誠	〒615-0882 京都府京都市右京区西京極葛野町2 TEL: 075-321-6902 / FAX: 075-321-6903	9:00~17:00 / 月~金 hisakado@mineo.jp
奈良県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 前田 妙子 事務局 宿利 浩章	〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL: 0744-29-0140 / FAX: 0744-21-6112	10:00~16:00 / 月火 10:00~14:00 / 木金(週4) honbu@narakenshiren.gr.jp
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会 会長 松並 利行 事務局長 橋本 佳子	〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスバル法円坂5F 大肢協内 TEL: 06-6940-4181 / FAX: 06-6943-4661	9:00~17:30 / 月~金 ren@daishikyoo.or.jp
和歌山県障害児者父母の会連合会 会長 柳岡 楠美 事務局 川端・山本	〒640-8324 和歌山県和歌山市吹屋5-49-3 (社福)つわぶき会法人本部(川端) TEL: 073-431-7000 / FAX: 073-488-6662	8:45~17:00 / 月~金 htuwa294@tuwabuki.jp
兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 濱 利男 事務局担当 吉田 知英	〒650-0004 神戸市中央区中山手通5-1-1 神戸山手大木 ビル2F(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団内 TEL/FAX: 078-362-2025	10:00~18:00 / 月~金 yosd-tom-hyogo@bca.bai.ne.jp
鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 浜崎 晋一 事務局 濱本 義則	〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内 TEL: 0857-59-6344 / FAX: 0857-59-6340	8:30~17:15 / 月~金 kobayashia@tottori-wel.or.jp
岡山県肢体不自由児者福祉協会 会長 宮本 敏行 事務局長 倉持 郁夫	〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 県総合福祉・ ボランティア・NPO会館(きらめきプラザ)1F TEL/FAX: 086-222-9018	9:30~16:30 / 水・木 okasifuku@kirameki-plz.com
島根県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 今岡 裕統 事務局長 足立 裕	〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-107 けんしれん事務局(事業部) TEL: 0852-27-7185 / FAX: 0852-31-7927	不定 wako@hyper.ocn.ne.jp
広島県心身障害児者父母の会連合会 会長 米田 操 事務局長 中山 智子	〒731-0231 広島市安佐北区亀山6-3-33-1(事務局)	不定 m.yoko@do3.enjoy.ne.jp
山口県肢体不自由児(者)父母の会連合会 会長 福田 修三 事務局次長 小林 伸道	〒753-0072 山口県山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内 TEL: 083-925-2424 / FAX: 083-925-2212	8:30~17:15 / 月~金 yamashiren@soleil.ocn.ne.jp
香川県肢体不自由児者と父母の会連合会 会長 三谷 美代子 事務局長 河野 佐保	〒763-0092 香川県丸亀市川西町南甲167-8 河野内 TEL: 0877-28-0429 / FAX: 0877-28-0429	不定 kashiren.1114@outlook.jp
徳島県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 圓井 美貴子 事務局 久積 智子	〒773-0031 徳島県小松島市和田島町松田新田305-11 (久積宅) TEL: 088-644-0267(圓井) / FAX: 0885-37-0525(久積)	不定 challenge.toku@gmail.com
高知県肢体不自由児者父母の会		
愛媛県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 渡部 坂嘉 事務局 徳永 隆子	〒790-0063 愛媛県松山市辻町15-21 TEL/FAX: 089-923-4550	不定 ehimekenshiren@outlook.jp
福岡県肢体不自由児者福祉連合会 会長 中川 雅順 事務局長 長野 陽子	〒810-0024 福岡市中央区桜坂3-12-6 長野様方 TEL / FAX: 092-741-8271 090-3606-4961	9:00~17:00 / 月~金曜 0nu2893v7873x6n@ezweb.ne.jp
佐賀県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 福市 繁幸 事務局 井上 恵美子	〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 <7F> No.156 TEL: 0952-97-5567 / FAX: 0952-97-5568	不定 sagakenshiren@yahoo.co.jp
長崎県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小濱 規男 事務局長 下村 明美	〒858-0912 長崎県佐世保市母ヶ浦町2000-5 TEL/FAX: 0956-55-8922	19:00~21:00 / 月~土(週6) 下村: papamama555nagasaki@yahoo.co.jp
大分県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 濱田 聖美 事務局 川崎 恵子	〒874-0849 大分県別府市扇山4組 本本ノブ子様方 TEL/FAX: 0977-24-4661	不定 o.kenshiren2@gmail.com
熊本県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 加賀野 幸子 事務担当 河端 尚美	〒861-5271 熊本県熊本市西区中原町370-4 生活介護支援センターあゆみ内 TEL: 096-273-6518 / FAX: 096-273-6519	不定 tzaitsu2010@cap.bbq.jp 又は ayumi.dosa@outlook.jp
宮崎県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 田中 聡子 事務局長 竹中 恵美	〒880-0024 宮崎県宮崎市祇園1-50 宮崎市身心障害者福祉会館内 TEL/FAX: 0985-27-2867	10:30~16:00 / 月・火・木・金(週4) miyazakikenshiren@gem.bbq.jp
鹿児島県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 四蔵 幸夫 事務局長 塩屋 智子	〒891-0103 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台4-72-13 TEL: 090-6649-7459 / FAX: 099-264-1086	不定 y.shikura@nils.ne.jp
沖縄県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 宮島 京子 事務局長 宮城 稲子	〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺2丁目24-24 ケイズコート203 TEL: 098-836-2352 / FAX: 098-851-3336	10:00~16:00 / 月・水・金(週3) info@okishiren.org



オーダーメイドでかなえる、
わたしだけにぴったりのランドセル。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ふわりいは、全てのお子さまの未来のために
持続可能な世界の実現へ向けて取り組んでいます。

ふわりい 障がい児 用 オーダーメイド universal Uランドセル

3つの基本型に、オプションを組み合わせ
お子様に最適なランドセルを職人が心をこめて手作りします。

2004年度 グッドデザイン賞 受賞商品

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会 推奨

基礎3タイプ+細かなオプションで通学や
使い勝手に合わせた機能を細かく選べます。
詳しくはふわりいウェブサイト、または専門
のランドセルアドバイザーにご相談ください。

重量: 約800g ~ 価格: 45,100円(税込) ~



A 全カブセタイプ

最もスタンダードで扱い
やすい、全カブセタイプ。



B 半カブセタイプ

錠前が前面についているので
開閉しやすい半カブセタイプ。



C よこ型タイプ

車椅子に取付けやすい
よこ型ランドセル。



スマホから
シミュレーション&
ご注文はこちら!



ふわりい

検索

安心の6年間保証
日本製
Made in Japan

e-mail: info@fuwarii.com

URL: https://fuwarii.com

KYOWA